

学んできました!

第30回 日本サイコネフロロジー学会 総会
看護師 内海 史恵

今回のテーマは『科学としてのサイコネフロロジー』でした。このテーマに込められたのは、末期腎不全患者、特に透析患者の心のケア、そのために必要な医療者自身の心のケアをできるだけ客観的、科学的に考え直す良い機会に、という思いから今回の大会長である長崎腎病院・長崎腎クリニックの船越哲先生がつけられたそうです。その中の1つで、オフィスJOC - Japan Okan Consultant - 代表・ホスピスグループ腎透析事業部事業部看護系顧問の岡山ミサ子さんのセミナー『ナースの立場から患者との関わりのコツ』で学んだことについて報告します。患者を主体とした関わりを作るために、病気・治療・自己管理への考えや思い、気持ちをたずねる。たずねないと患者の真意は見えない。患者にはそれなりの行動の意味や真意や背景があるということを知る。それを知るには、オープンクエスチョンや中立的な質問を入れて患者の感情・思いを引き出す。そしてメッセージで不快なもの、自分の素直な思いは伝える。その上で患者に介入する時は『TALKの原則』の『tell』で、心配、あなたのことを気にかけている、常に関心を向けているということをきちんと言葉にして伝える。『listen』傾聴の場合は感情に焦点をあてる。きちんと感情を聞いてあげる。そして距離。適切な距離。治療的なコミュニケーションの治療的な関係。一步踏み込むが、踏み込みすぎない。この状態をノンフィクション作家の柳田邦男さんが2.5人称という言葉で表現している。一人称は私、二人称はあなた=家族・親族、三人称は彼・彼女=他人。2.5人称は家族でもないけど他人でもないような関係。この距離を大切に。『keep safe』患者の情報は1人ではなくチームで共有し、一貫した態度をする。そしてチーム内、スタッフ同士で本音を話せる場を作る。このために、患者・看護師に役割を振ってコミュニケーションの練習をしてみるとよい。オープンクエスチョンは、その名の通り開かれた質問のことで、「何」「どう」「誰」「どこ」「いつ」のような言葉で始まる相手に自由がある質問をいう。例えば「病気と言われた時どんな思いでしたか?」中立的な質問は問い返し。質問。「それで?」「具体的にお話下さい」など相打ちに近い中立的な問いをいう。オープンクエスチョンや中立的な質問を普段から使えるよう、心がけたいと思います。

スタッフ紹介



事務 浅野 徳子

9月から事務で入社した浅野徳子です。大学のサークルで始めた登山が切っ掛けで、前職は山登りのツアーコンダクターをしながらアウトドアショップで働いていました。今は全く違う業界、職種で覚えることが多く大変ですが、1日でも早く仕事を覚え、皆さんのお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



■ クリニックからのお知らせ ■

9月より上浦技士、10月より岡本看護助手、11月より仲田看護師、平林看護師が入職しました。よろしくお願いいたします。

■ 原稿・写真募集中 ■

当院に対するご意見、質問、あるいは旅行記、家族写真などを募集しております。また、原稿依頼がありましたら何卒ご協力の程お願いいたします。



雲からしっぽが生えているように見える雲を尾流雲といいます。雲から降ってくる雨が落ちていく途中で蒸発してしまうことで発生します。一緒に虹が見えることもあるようです。

3密を避けましょう! 岡

■ 編集後記 ■



11 ~ 12

2020年

発行 海岸通りクリニック 〒706-0011 玉野市宇野 1丁目42-26 Tel 0863-31-3400 Fax 0863-33-5600

www.kaigan-cl.jp

● 腎臓に関する更生医療指定機関 ● 身体障害者(腎臓・心臓)指定機関

オンライン資格確認とは?

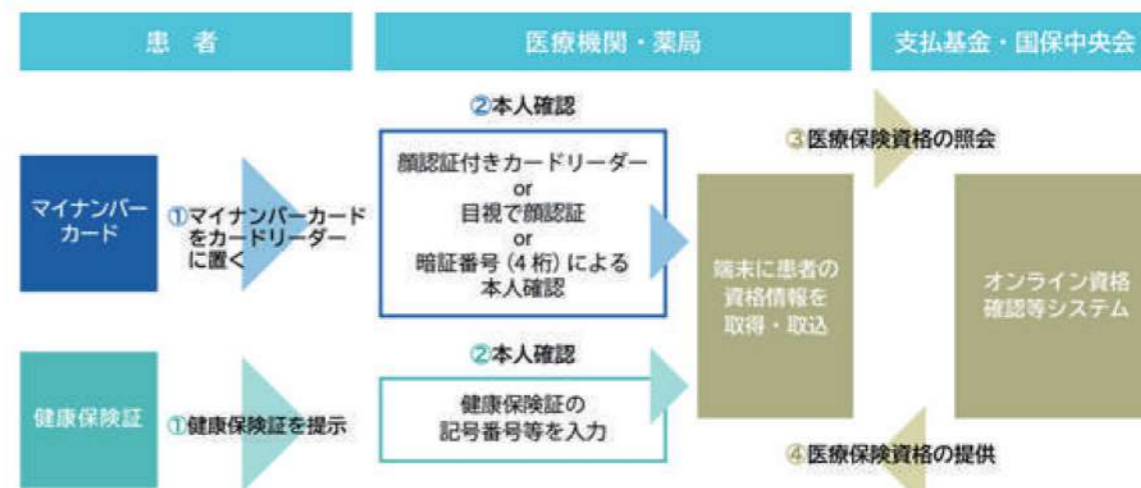
医療保険の「オンライン資格確認」が2021年3月から開始される予定です。オンライン資格確認を導入するとマイナンバーカードのICチップ、もしくは健康保険証の記号番号などによりオンライン上で医療保険の資格情報の確認ができるようになります。オンライン資格確認における本人確認の方法は2パターンあります。

○ 【マイナンバーカードを提示された場合】

顔認証付きカードリーダーまたは窓口スタッフによる目視で顔認証を行います。もしくは、4桁の暗証番号を患者本人に入力してもらうことで本人確認をします。

○ 【健康保険証を提示された場合】

窓口スタッフが保険証の記号番号などを端末に入力します。マイナンバーカード・健康保険証のいずれも上記の方法で本人確認をしたうえで患者の資格情報を取得し、支払基金・国民健康保険中央会が一元管理している資格履歴を照会し、患者の現在の医療保険資格の状況を確認します。



オンライン資格確認を導入するメリットは複数ありますが、代表的なものとしては以下の点が挙げられます。

- ・ 保険証の入力の手間削減
- ・ 資格過誤によるレセプト返戻の作業削減
- ・ 来院(来局)前に事前確認できる一括照会
- ・ 新規患者情報の登録の際に照会番号をオンライン資格確認等システムに登録することで、2回目以降は医療機関・薬局システムで管理されている患者情報と資格確認結果を紐づけられるようになる
- ・ 患者(加入者)から保険者への申請がない場合でもオンライン資格確認等システムから限度額情報を取得できるため、患者は限度額以上の医療費を窓口で支払わなくてよくなる
- ・ 患者の薬剤情報・特定健診情報を閲覧できるようになる
- ・ 災害時に限り、マイナンバーカードがあれば薬剤情報・特定健診情報をスムーズに閲覧できるようになる
- ・ 患者の薬剤情報・特定健診情報を閲覧できるようになる